

No.

麗澤大学図書館

書名	高学歴モンスター 一流大学卒の迷惑な人たち		
著者	片田珠美	請求記号	145.7 / Ka 81
著者のプロフィール・紹介			
精神科医、作家。広島生まれ。大阪大学医学部卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。精神科医として勤務するかたわら、その臨床経験に基づいて現代社会における犯罪心理や心の病を分析し、多数のメディアで発表や解説を行っている。			
本の概要・要約			
秘書に数々の暴言を吐いて話題となった東大卒・官僚出身の代議士、経営する企業の金を賭博につぎ込んで逮捕されたぼんぼん経営者、といった有名なケースに限らず、高学歴で輝かしい経歴の持ち主が、暴言を吐いたり、周囲を振り回したりするケースが後を絶たない。もともと優れた頭脳の持ち主のうえ、それ相当の努力をしたからこそ、輝かしい経歴を手に入れたのだらうに、犯罪まがいの悪事に手を染めたりする。しかも迷惑をかけている自覚がない。どうして彼らはこのような行動を起こしてしまうのだろうか。その高学歴モンスターの精神構造を分析し、撃退方法を明らかに！			
論評(この本を読んであなたが感じたこと、心に響いたこと、主張等)			
「どうせ当の本人がこの本を手取ることはないだろう」 この本の中で私が一番心に残ったフレーズだ。確かにその通りである。この本は学歴モンスターという学歴「だけ」がしっかりしている人たちの性格や対処法を記した本である。学歴モンスターとは他人の意見を聞かず、自己陶醉している人。常に自分が注目的にいたい、そんな人のことを通称「学歴モンスター」と言う。まずはその人たちの性格を紹介しよう。代表的な性格は①想像力の欠如②自覚の欠如③完璧主義で細かいすぎる、などがあげられる。特に②については「無自覚ナルシスト」という。この中にも沢山の種類がいる。高学歴の御曹司や病院の御曹司、高学歴のマザコンなどだ。「送信器はあるが受信器がない」これは本の中のワンフレーズである。まさにそんな人たちにぴったりである。他人の意見を聞くことはなく、批判されると怒る。所詮他人のことを道具としか思っていないのだ。 そんな高学歴モンスターにはいくつか攻略方法がある。その中で一番の攻略法は観察・分析し、スルーすることだ。わが身を守るためにはこの方法が一番である。会わないことが一番だが、会ってしまったらこの方法を取ることがお勧めだ。このように、この本では高学歴モンスターに出会ったときの対処方法が記されている。著者の経験や独自の考え方が記述されているためユーモアがあり、大変読みやすい。万が一の時のために、私はこの本を読むことをお勧めする。			
この本のおすすめポイント(どんな人にこの本を勧めたいか)			
私はこの本を、今まで高学歴モンスターに出会ったことがない人たちに一番お勧めしたい。なぜなら会ったことない人たちからしたら、文面だけで言われても想像できないだろうからだ。会って見たらわかるがあの人たちは独特な雰囲気を持っている。会ってからこの本を読んででももう遅い。私自身が実際に経験し、そう思ったからだ。あの人たちの雰囲気に吞まれてしまう。なので一度も会ったことない人に特にお勧めしたい。会ったことある人もこれ以上傷つかないようにぜひ読んでみてほしい。この際読んでみて、早めに対処法を身に付け、自分で対処出来るようにすることをお勧めする。			